

模型飛行機クラブ会報 **Launchers** 2005年1 / 6号

- 2005年記録会は2月20日(日)大宮田んぼ(9:00~12:00)
- 2005年記録会は3月20日(日)大宮田んぼ(9:00~12:00)です!

ランチャーズ・会報05年1号です。昨年ですっかりUHLGが定着し、今年はさらに記録が延びる年だと考えます。昨年ひとまずHLGの規定が出来て、そのシバリによりHLG競技がどのように変化するか、又はしないのか。それと、今年はFAI規定が少し変わって「スーパーマックス」が無くなる様です。いずれの変化も、狭い場所で競技を成立させようとする方向性と、遊びとしての面白さを、どう両立させるかの苦心なのですが・・・。飛ばないと面白くないし、飛びすぎるとシマリが無くなってつまらい。どうする、どうするランチャーズ。

幸いにもHLGは体力と言うシバリがあつて、精一杯頑張っても、良く飛んでも1分前後と言う模型飛行機なので場所の悩みは少ない。ニンク食べて、強壯剤を飲んで益々若返って、夢の2分に挑戦しよう。生き生き・ランチャーズ!!

新年の挨拶・会長

会費のお願いと会計報告

2005年度イベント予定

記録会報告

- ①2004年12月記録会/HLG
- ②2004年12月記録会/PLG
- ③2005年1月記録会/HLG
- ④2005年1月記録会/PLG
- ⑤栃木大会報告
- ⑥湘南大会報告

お知らせ

- ⑦FF世界選手権情報
- ⑧きしめん大会案内
- ⑨関西FF国際級大会案内
- ⑩選手会大宮大会案内
- ⑪板倉大会案内

FFサロン

- ⑫インドアHLGの楽しみ・2
- ⑬もけいひこうき教室開催の勧め

雑談天国

- ⑭UHLG入門機・スパン75
- ⑮頑張ってます!新潟

編集後記

★ 新年の挨拶・会長

相沢

2005年、明けましておめでとうございます。ランチャーズは1980年にT-HLG(東京ハンドランチクラブ)とC-HLG(千葉ハンドランチクラブ)が合併して発足したので、今年で結成25周年になります。世の中の移り変わりには30周年説というのがあります。新鮮さを失ったものは何時か葬り去られます。30年を間近にひかえ、まだHLGが存続していると言うことは、飛ばす人に新鮮な感動を与え続けてくれるからです。投げると言う単純な動作だけで、長年感動を与えてくれるHLGこそは底?知れぬ魅力があるからと言えましょう。数年前にUHLGが出現して、昨年遂に競技機として完成し、ランチャーズ記録会で益々感動を与えてくれる事でしょう。今年は25周年を記念して何かイベント企画をしたいと思いません。

★ ランチャーズ04年度会計報告とお願い

平尾

昨年は会報づくりに、いくつか新しい試みをしてみました。しかし、いくつかは解決されていません。今年更に検討してより良い、より経済的な方法を確立したいと思います。

ランチャーズ会計は昨年も黒字で終わった事を、会員の皆様から感謝致します。また、今年の会費もよろしくお願ひします。昨年10年ぶりに開催した「もけいひこうき教室」の費用は、過去に残っていた賞品等を使って経費節減にで努力しましたが、若干の持ち出しになりました。残った教材は今後の記録会の賞品とします。

収 入	(単位円)		
会 費		42名 × 2,000円	84,000
特別会費(まとめ払いの会費)			8,000
大宮田んぼ寄付			5,500

	Tシャツの売上げ	4,700
	模型飛行機教室	4,200
	前年度繰越し	8,575
	計	114,975円
支 出	送料(6回分)	34,734
	封筒・ラベル等	19,334
	コピー代金	6,860
	大宮田んぼお礼	10,000
	J MA会費等	8,000
	合宿諸経費	2,228
	模型飛行機代(子供用40機他)	9,408
	香典等(小西様)	10.51
	計	101,074円
	繰越金	13,901円

★ 2005年模型飛行機・イベント予定(2月以降・関東中心)

開催日時	競技名称	主催	開催場所
2月27日(日)	きしめん大会(中部春期競技会) F1J, HLG, 小型混合級	C F F C	鈴鹿・楠田んぼ
3月13日(日)	関西F F 国際級競技会 F1A, B, C	関西F F 連合	滋賀県大中の湖
3月27日(日)	大宮大会 FIGHJ, HLG, 国内級	東京選手会	埼玉県大宮田んぼ
4月9,10日(日)	国際級競技会板倉大会 F1A, B, C	J MA	群馬県板倉町離
6月5日(日)	平城京ライトプレーン大会 HLG, ライトプレーン, ミニカーブ	K F C	奈良市平城京跡公園
8月6,7日(日)	合宿研修会 久振りに夏F F が飛ばせる	ランチャーズ	茨城県櫻川村甘田
8月20日(土)	模型航空シンポジウム 模型飛行機の発表会	J MA	新橋・航空会館
9月25日(日)	まったけ大会 FIGHJ, HLG, 国内級	C F F C	鈴鹿・楠田んぼ
11月4~6日(日)	F F 日本選手権競技会 F1A, B, C	J MA	千葉県万歳田んぼ
11月20日(日)	国際級FIGHJ, HLG競技会	J MA	埼玉県大宮田んぼ
12月4日(日)	関西F F 国内級競技会 FIGHJ, 国内級, HLG	K F C	滋賀県大中の湖
12月11日(日)	栃木大会 ホルドタイム、スケール、ライトプレーン、HLG	T S F	栃木県小山市鏡
ランチャーズ記録会	毎月第3日曜日 HLG, PLG他	主催・ランチャーズ	開催場所・大宮田んぼ、瀬谷他、

◆2004年12月記録会の結果(HLG/CLG)

12月PLG記録会報告

佐藤・・・①

04年最後の記録会は快晴に恵まれ、サーマルに恵まれ久し振りに好記録(13名中12名が200秒以上)が出ました。又、参加者も13名と盛況でした。

結果は内山さん、河田さんのフライオフにより内山さんが3連勝(300+89秒)となりましたが、最

高齢者(79才)での健闘は立派です。2位は残念、先行して5MAXを出した河田さん(300+42秒)でした。3位は久しぶりに参加したベテラン石井さんでしたが、後半追い上げましたがMAXに4秒不足でした。4位はクラタ号の倉田さん。5位はフリーのベテラン出口さんでした。今回新たに小嶋さん、渡辺さんが加わりましたが、今後も継続参加される事を期待いたします。

今回競技の選手全員での平均タイムは274秒と素晴らしいものです。1ラウンド平均で55秒で、こちらも凄い!!! 参加者も13名は素晴らしい。

12月PLG記録・12月19日大宮たんぼ・晴れ/曇り、気温12度・北東の風1~3m/S、60秒MAX

順位	選手名	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	合計	F1	F2	総計
1	内山	42	56	60	53	46	60	54	60	60	60	300	89		389
2	河田	60	60	60	60	59	53	60				300	42		342
3	石井英	14	56	6	51	45	60	60	60	60	41	296			296
4	倉田	60	60	55	44	50	46	60	28	23	60	295			295
5	出口	60	31	48	36	49	47	60	60	30	60	289			289
6	乙川	55	46	60	60	46	23	37	60	48	27	283			283
7	斎藤	35	60	32	60	60	38	42	60			282			282
8	戸谷	34	28	60	45	60	36	49	54	39	58	281			281
8	石引	37	54	46	60	35	21	60	60	47	29	281			281
10	篠原	37	39	34	54	60	38	60	60	31	33	273			273
11	佐藤	34	15	10	30	60	34	40	60	37	52	249			249
12	渡辺	36	32	27	52	48	36	45	38	52	43	240			240
13	小嶋	7	22	44	32	37	41	34	16	31	18	188			188

12月HLC記録会報告

1. 相沢、2. 平尾・・・②

2004年への記録会は石井満さんが優勝しました。フリーライトHLGにアンダースローを持ち込んだのは石井満さんです。2001年11月にホームページのランチャーズ掲示板にスッパヌキ?の投稿があり、「ハンマー投げスタイルのF.F.-HLG」として紹介されています。

http://www.ypl.yippeee.ne.jp/launcher/s/bbs/main.cgi?board=launcher_s_BBS_2002&number=728&view=2&howmanytext=

この後、幾人かが手掛け徐々に機体の開発、投げの研究が行われ実用化されました。あれから2年、最近のランチャーズ記録会では当たり前前の機体として定着しました。アンダースロー機の魅力は腕力がない人でも勝負できる高度に機体を上げることができる点です。より多くの人の記録会への参加が望めますので益々発展するでしょう。今回、この機体の提唱者である石井満さんが優勝したのはとてもうれしい限りです。普段の研究と努力の賜物と思われれます。しかも2回のフライオフを全てMAXで制し完全パーフェクトです。おめでとうございます。(相沢)

相沢会長が述べている通り、石井満選手の優勝を締めくくりとしてUHLGは完成したと言えます。今回の記録会でもUHLGが過半を占めて、今後更に増える勢いです。こうなると野球投げを応援する必要がありそうです。しかしどうすれば良いのか解りませんが・・・。

記録上から見ると春山選手が5投で5MAX、井村選手が7投5MAXとなっていて、UHLGのみならず野球投げも進歩している様に思えます。しかしながら、フライオフも5人となると・高さ・のみでは勝てません。運を呼び込む実力、優れたサーマルハントのやり方・これは10分という短い時間の中での最良の条件を見極める目と言う事ですが・等が必要です。精神力を支える若さ・体力も必要か。こうなると益々シニアは頑張らねば・・・。

今回の記録会での数値は、野球投げでこれまで高度で1番だった選手が、UHLGの出現で「まだ、まだ」という気になったのでしょうか。競技とは不思議なもので、1人の記録が上がると周囲も成績が上がってレベル全体が向上し、昔の記録を軽々と超えていく事は歴史が何度も証明しています。HLGはどうだ?? 各選手の合計を計算すると265秒が平均値となります。1ラウンド当たり53秒です。HLG界に何か起きています。

12月HLG記録・12月19日大宮たんぼ・晴れ/曇り、気温12度・北東の風1~3m/S、60秒MAX

順位	選手名	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	合計	F1	F2	総計
1	石井満	60	60	28	55	60	60	43	33	60		300	90	120	510
2	石山	47	60	60	50	60	57	33	60	60		300	90	81	471

U

3	春山	60	60	60	60	60						300	90	40	53	443	U
4	井村	60	60	60	60	33	47	60				300	90	33	41	431	
5	吉田	60	60	60	60	59	57	47	40	39	60	300	85	53		385	
6	吉敷	60	60	60	53	60	32	46	13	60		300	50	28		350	U
7	菅野	59	60	40	60	36	55	56	46	45	60	295				295	
7	三田	54	36	60	58	57	60	60	56	39	42	295				295	U
9	大八木	46	36	33	42	47	30	60	60	60	60	287				287	U
10	下田	21	37	38	39	60	25	45	60	60	60	285				285	U
11	斎藤バ	44	60	53	51	51	60	60	34	35	37	284				284	U
11	野中	56	48	60	31	25	60	60	46	31	37	284				284	
13	寺田	49	5	49	37	32	60	60	60	40	41	278				278	
14	吉野	18	32	5	34	27	60	52	60	41	60	273				273	U
15	池田	55	46	37	46	60	60	35	27	24	41	267				267	
16	相澤	56	39	50	38	37	60	39	60	28	18	265				265	U
17	小川	53	40	47	39	30	38	48	44	38	38	232				232	
18	今関	39	26	38	27	43	37	5	21	42	60	222				222	
19	戸谷	24	41	23	5	30	25	60	30	20	18	186				186	U
20	三俣	23	31	24	23	20	24	32	25	39	39	166				166	
21	川口	34	15	27	26	27	33	5	24	5	9	147				147	

◆2005年1記録会の結果(HLG/CLG)

1月HLG記録会報告

1. 相沢、2. 平尾・・・③

2005年の開幕戦のHLGはフライオフに残る選手数を減らすため10投中7投の合計タイムで競いました。優勝は春山さんが7連続MAX+87秒で優勝、2位は7MAX+73秒で吉敷さん、3位は6MAXの415秒で平尾さん。ここまで、アンダースロー組みでした。4位は6MAX411秒で井村さん、5位は6MAX409秒の吉田さんとオーバーハンドで奮闘しました。

春山さんの強さには圧倒されます。昨年来、本業?のF1BゴムドリをそっちのけでアンダースローHLGを研究し続けてきた平尾さんがますます好調です。今回は3位でしたがいつ優勝してもおかしくないところに到達しています。誰か曰く、やっと5MAXのパーフェクトを狙えるようになってきたのに7投の合計となり、パーフェクト達成が遠のいてしまったとか。当面、7投合計で行きたいと思います。頑張りましょう!!!!

PLGで無尾翼が高記録を出しています。佐藤さんが熱心に研究されていて今回は10飛行中5飛行の記録で2MAX278秒です。HLGへの応用も面白いかもしれません(以上相沢)。

雨天により1週間の延期の後、23日の記録会は曇天ながら意外なほどの好条件に恵まれた絶好の飛行機日より。参加者も「たくさん」で楽しめました。外気温は1~4度で、サーマルは終日小さい方でキマリ。タイミングが難しいものの、現在のHLGの性能では問題ない範囲でした。

競技は7/10投カウントで開始。やや戸惑いがあるものの各選手は、一見淡々と飛ばしていました。この日はUHLGが優勢でした。しかし、見ていると野球投げHLGでまだまだ十二分に戦えると感じました。サーマルが来た時に、野球投げはねらった所にキチンと入れられるのが最大の利点でしょうか。湘南大会優勝の菅野選手はメロンがないので手を抜いて、それでも4MAXの6位、このところ調子を上げている三田選手は機体の調整が間に合わず7位、紙の名手・石山選手は迷いがあるのか4MAXの8位、元祖・石井満選手は早く帰る時間が気になってか9位、大八木選手は迷っているまま10位、昨年優勝した小川選手は様子見か?11位・でも平均タイム50秒は悪くない。下田選手は、この日安定せずで12位、UHLGに転向した宮辺選手は平均50秒を出して13位、次回から狙ってくるか。

星野、斎藤両選手までが300秒超で平均タイム43秒はまずまず、但し、こっから先が難しいので、どこまで根性が出せるか。声の良い池田選手は肩が復調気味、肩の体操を欠かさないように。最近参加しはじめた寺田選手は大人しめで、早くドギツイ・ランチャーズモードに慣れないと勝負事には勝てないぞ!! 何となく恐ろしいのが平林兄弟、乗ってくると徒党を組んで勝ちに来るのでは……。三俣選手は技術は十分、後は他人をまねる事。吉野選手は毎回ムラが大きい、次回は優勝か。戸谷選手は今回も掛け持ちで、どこまで記録が伸ばせるか。相沢会長は最近意地になって小型機からんでいる。小型機が可哀相。今関選手のビリは狙ったのかな……。

1月HLG記録 1月23日 大宮たんぼ 晴れ/曇り、気温5度・北南東の風0~2m、7/10・60秒MAX

順位	氏名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	計	F1	F	計	備考
1	春山	60	60	60	60	60	60	60				420	87		507	U
2	吉敷	60	60	53	44	60	60	60	60	60		420	73		493	U
3	平尾	55	51	60	60	60	60	60	55	60	51	415			415	U
4	井村	38	42	60	60	60	60	60	37	60	51	411			411	
5	吉田	46	49	49	60	60	60	44	60	60	60	409			409	
6	菅野	51	59	40	60	60	36	60	46	32	60	396			396	
7	三田	43	43	60	46	42	60	56	60	34	60	385			385	U
8	石山	42	41	52	60	60	37	36	60	47	60	381			381	
9	石井満	32	47	32	60	52	48	48	37	47	60	362			362	U
10	大八木	32	45	37	36	40	54	54	41	60	60	354			354	
11	小川	52	44	60	43	43	60	50	39	31	22	352			352	
12	下田	46	50	6	50	35	42	51	44	50	60	351			351	U
13	宮辺	24	37	36	52	60	40	36	54	60	47	350			350	U
14	星野	49	51	60	52	39	34	29	24	37	41	329			329	
15	斎藤	60	49	37	40	34	33	35	37	46	50	319			319	U
16	池田	43	38	36	31	44	35	33	37	29	38	271			271	
17	寺田	36	0	42	31	39	30	21	31	45	32	256			256	
18	平林幸	45	36	40	31	21	27	33	30	23	38	253			253	
19	三俣	36	39	30	25	36	35	19	31	38	31	246			246	
20	吉野	33	22	2	32	41	43	33	28	32	31	245			245	U
21	戸谷	23	30	27	28	32	29	19	28	25	32	206			206	U
21	相澤	0	33	31	8	0	10	35	27	32	38	206			206	
23	平林助	18	10	34	6	25	18	25	38	32	27	199			199	
24	今関	35	4	23	31	5	4	24	5	27	28	173			173	

1月PLG記録会報告

佐藤・・・④

くもり空で寒さがキビシイ記録会となりましたが、比較的コンディションが良く、全般的に高いレベルの記録会でした。結果は4名のフライオフとなりましたが、ミニトレーナー新作(スパン20cm)で5回で5MAXを出したベテラン石井(英)さんが300秒+90秒で優勝。2位は成長株の石引さん(300+58秒)。3位は練習熱心な乙川さん(300+42秒)。4位は上昇(打ち上げ)が素晴らしい河田さん(300+26秒)ですがフライオフは残念乍らツキがありません。5位は新規入会の小嶋さんで好タイムの292秒。6位は倉田号の倉田さん(281秒)7位は無尾翼の佐藤(278秒)、8位はファイトマンの戸谷さん(272秒)、以下省略。

05年1月記録PLG 1月23日 大宮たんぼ 晴れ/曇り、気温5度・北南東の風0~2m/S、60MAX

順位	氏名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	計	F1		計	備考
1	石井英	60	60	60	60	60						300	90		390	
2	石引	44	60	60	60	60	60					300	58		358	
3	乙川	60	60	60	38	60	25	60				300	42		342	
4	河田	45	52	60	58	60	60	47	60	59	60	300	26		326	
5	小嶋	49	60	55	60	32	56	46	60	56	48	292			292	
6	倉田	21	51	58	60	57	55	51	46	42	47	281			281	
7	佐藤	12	59	41	40	48	50	40	49	60	60	278			278	
8	戸谷	37	49	60	45	57	48	56	50	35	33	272			272	
9	篠原	40	50	41	43	48	56	60	31	26	6	257			257	
10	内山	29	24	26	39	11	25	30	2	31	40	169			169	

◆ 2004年・栃木大会報告

平尾・・・⑤

栃木大会は飛行場が狭くなるに伴い、昨年より競技方式を全面的に変更した。その結果、この大会は日本

で唯一、競技会らしくない大会に変貌した。各競技会が性能追求の競技機でタイムを競い合う事にさして変わりが無い。しかし、栃木大会は差別化として、飛ばす事の楽しさに重きを置いた大会へと大きく梶を切ったと言えよう。どう楽しむかは参加者の「心のゆとり」の大きさによって変化する。暇をもて余すOB（大部分の人はまだまだ時間が足りないとこぼすが・・・）が、オールドタイマー機やスケール機を作るためには、この大会は十分な理由となるだろう。今後の採点方法に「姿形」「飛ぶ姿のらしさ」を加味されるのは如何か。

***HLG**

この日は曇天微風とまずまずの条件。8時受付、9時競技開始で1ラウンドは10時半までに終了、11時まで全競技終了となっていたが、HLGは場所選びで時間をオーバーした。と言うのは、初めはみんなと同じ場所近くで練習していたが、足下が砂利で踏ん張りが効かない。又、足をひねりそうで怖かった。そこで適切な場所を探すのに時間がかかり、結局はやや離れた舗装道路まで移動した。野球投げより翼端投げは身体を回転させる度合いが大きいので、足場が重要な事を再確認した。特に1回転投げは平らな舗装面でないと危ない。

競技では1回転投げの下田選手がしだいに調子を上げて凄高度。30mは上がって感じで、300秒を出して逃げ切った。2位はもうチョイの平尾。3位はしだいに良くなりつつあるが、UHLG初心者の大八木選手、しかし次回は1戦級の飛ばし手になりそう。

***フライングスケール**

スケールは2人の戦い。このクラス、昨年は参加者は櫛引選手1人のみで、3回飛ばしてお米を持って買えるという「不逞の輩」だった。しかし、今年はお米に目がくらんで、大八木選手が突如参加。しかし、付け焼き刃はキレが悪く、2秒差で今年も櫛引夫妻の勝ち。お米を取るのにはピーナッツスケールでOKなので、来年もねらい目である。

***ライトプレーン**

足つき市販機の戦いは昔乙女の戦いで激烈。後ろに控える国際級のモサが真剣に指導した結果、全員がオールマックスでフライオフとなり、今年の夏から入れ込んでいた岩田夫人の勝ちとなった。岩田さんは出かけて行っては、様々なキットを買ってきて、やたらと作っただらしい。この種目、結構むつかしいので参戦する場合は十分な準備をして本気でかかる事。

***オールドタイマー エンジン**

エンジン付きオールドタイマーの競技はなかなか良い。モーターランはグローが15秒、その他のエンジンが25秒とシマリが無くて、またイイ。タイマー制御しない場合は20%のオーバーを認めているので、益々シマリが無くて素晴らしい。飛ばす方もエンジンのフル回転は考えていなくて、穏やかに何時までもいつまでもエンジンをまわして、螺旋上昇でゆっくり上がる飛行を楽しむ。相沢選手は小型機を見えなくなる程上げてお米を貰った。機体はスパン70cmから人が乗れそうな2m超えの飛行機まで。エンジンは0.2から1.5ccまで一緒なので、「何これ」と戦う気が削がれて、これまたイイ。見ていて「日本もお金持ちになってきたなー」と言った気分になる。秋山選手は2回ともしっかり燃料を入れてオーバーランで、何処までもどこまでも上がる感じで、なかなか良かった。痩せ細ったF1Cみたいな機体ではなく、みんなふっくら美人の飛行機は心が和む。スタイルより健康美人がイイ。

***あとがき**

昨年は雨だと思って参加しなかったのだが、こんな競技会もあって良いと思う。今回はオールドタイマー・ラバーパワーの参加者が居なかったが、来年はねらい目である。あと残っているのはオールドモデル・グライダーがある。まん丸い胴体のグライダーで、無論サークリング無しである。しかし、調べてみると、うんと古い機体は別として、現在のと形がさほど変わっていないので面白くなさそう。しかし、図面は昔の雑誌に載っているの、やる気のある人は作ってアピールすると競技に入れてくれるかも。

2004年栃木大会記録 12月12日 小山市鏡の田んぼ、曇天微風

種目	氏名		R	R	R	R	F	計	順位	機種、及びエンジン
HLG	下田多門	60	60	60	60	60		300	1	熟年
	平尾寿康	60	58	60	60	60		298	2	塾年
	大八木重	48	39	42	48	58		235	3	中年
フライング	櫛引敬司	21	32	32				85	1	プロフィールスケール

スケール	大八木重	22	29	32			83	2	ピーナツスケール	
ライトプレーン	岩田和子	60	60	60			77	257	1	
	櫛引恵子	60	60	60			75	255	2	
	梅原陽子	60	60	60			47	227	3	
エンジン パワー	相沢泰男	60	60	60			134	314	1	Zi pper. COXID02
	持田 守	60	60	60			95	275	2	Ai rfl oBaby. AME06
	鈴木俊和	60	60	60			94	274	3	Pl ayboySR. LETTD051
	森沢敏男	60	60	60			70	250	4	不名. COXID051
	小林正樹	60	60	60			47	227	5	Pl ayboy. COXPW02
	秋山和輝	0	0	0				0	6	Brookl ynDodger. PWA1. 5cc

◆ 2005年湘南大会報告

平尾・・・⑥

初飛ばし競技会の湘南大会も大宮にすっかり定着し多数の人が参加する。しかし、大宮に移ってからは中部の人達が来なくなったのは寂しい。今回の報告はあまり他の競技を把握出来ていないが、ご勘弁頂きたい。気象条件は最高、昨年強風分を差し引いても「良い」と言えるコンディションで、ほぼ無風、且つ、気流も安定していた。ライトプレーンとHLG以外は第1ラウンド・スーパーマックス4分で競技を開始した。幸いにも終わるや否や風が吹き出して、皆、そさくさと解散した。湘南クラブの皆様、楽しく過ごせました。有り難うございました。

◇F1G・ゴム動力機

例年顔を見せていた静岡の三浦さんがいないのは寂しかったが、参加者は14人とまずまずの人数。第1ラウンドは4分のスーパーマックスでスタート。しかし、意外にもハイテク化したF1Gでもスーパーマックス通過は2人のみ。しかし2分をオーバーした選手は9名もいた。これらの選手は残り4ラウンド気を抜かず真剣勝負。1ラウンドを満点で通過した2選手・島崎、鈴木両選手は残りラウンドでオールマックスを取れず脱落。心臓の具合が悪いと言っていた出口選手は、第1ラウンド3分57秒ながら残りを手堅く稼いで優勝。2位は順当に1ラウンド3分37秒を出した坂巻選手。3位は練習熱心な渡辺選手と、今回は残念ながらハイテク機に上位を独占された。バルサ機では倉田選手が23秒差で4位とは惜しい。この種目、スパンは90～140cmとバラバラ、70gの機体が10gのゴムで急上昇する様子は、なかなかのもの。ゴム重量比では有利なR級も参加したが、残念ながら3位以内はなかった。600秒超は4人とこの日は少なめ、この種目まだまだバルサ機でやれるので、いずれは本気で挑戦したいものである。ゴムがタン・スポーツのみなると10gなので性能差が出てくるのかも・・・。

◇F1H・クライダー

この日はほぼ無風、地面が凍っていて固かったのでサークリングはまずまずの条件だった。優勝候補の2選手の内、まず土肥選手が機体のトラブルで脱落、和田選手が1ラウンド2分34秒ながら追い上げて優勝。出だしの4分は病み終わりの吉岡選手が取って決まりかと思っただが、後半で足がもつれたか、少し落として残念ながら3位となった。2位は中国機「鶴ちゃん」を飛ばして頑張ったランチャーズの大八木選手が入った。風がない時は中国製G級「鶴ちゃん」は軽翼面荷重によってふわりフワリと逃げ切った。平尾は2回離脱で手が離れて落とし4位。小堀選手は第1ラウンド3分7秒と頑張ったが、3、4ラウンド、奥さんの発航は良かったのだが落として5位は残念でした。このところチョコちょくクライダー競技に参加している岩田選手は随分と巧くなったものの、後一息と言う所で6位、次回はねらえる。ランチャーズの池田選手は偏芯フックの機体で頑張ったが、サーマル読みが慎重すぎて圏外。櫛引選手はまだ若いのだからサークリングを練習したらどうかな・・・（何か言われそう）。初参加の井沢選手は離脱が巧いかず、でも3マックスを取ったのは立派、あまり巧くならないでね。ランチャーズ・宮辺選手は機体のトラブルで2機とも壊してリタイヤ。全体的には余技でやる熟年・新人がぼつぼつと増えて、将来は乱戦になりそう。

◇F1J・エンジン機

エンジン機は佐藤俊介さんが応援に来ていたが参加せず、5名とやや寂しい。このクラスは性能オーバーで、スーパーマックスは楽なはずが、残ったのは2人のみとは意外でした。2ラウンド以降は全員がマックスでフライオフがあった。例年練習には滅多に来ていないで、競技にのみ顔を見せる本永選手が3秒ランのフライオフを制して優勝、2位には津田選手が入った。3位には熊谷選手と、いずれも国際級では目立たない選手が上位を占めた。国際級の金川、江連選手は4、5位と低迷した。見ていても100m以上の凄い高

度を取りながらも、4分はきついで、デサーマルに入れない技術が必須である。この種目でもナメたらあかん。

◇H L G

湘南大会に参加しました

レポート・ 鷺見健次

こんばんは。鷺見@長居S F です。今回の湘南大会は昨年とはうって変わり、晴天・微風の大変好条件のもとで行なわれました。私は、関東の横投げH L Gの皆さんに、自分の野球投げでどこまで対抗できるか挑戦するつもりで今年も大阪からH L G部門に参加しました。結果は300+4秒と、私としては上出来の4位でしたが、それでも参加者の3分の2が290秒をオーバーしており、お互いが1~2秒差でひしめき合う、ハイレベルの競技でした。競技中、お互いにアホな(失礼)冗談を言い合いながらもサーマルの発生は見逃さない皆さんの集中力はやはりさすがと言わざるを得ません。

そんな中、菅野さんが第一ラウンドの1投目で一人90秒を出した時点で今年H L G部門のメロンの行方は、ほぼ確定していたようです。菅野さんは、その若さとパワーで、続くラウンドも1投で着実にMAXを重ね、他の参加者の皆さんのメロンへのはかない夢を、次々と気持ち良く打ち砕いておられました。

今回は同じ日に紙飛行機の大会が行なわれていたようで、そういえば、例年よりも参加者が少なかったように思いました。しかし今回は、湘南大会に紙飛行機部門を新設し、賞品のメロンも用意されるとか。ますます盛大で、にぎやかな大会になりそうです。

湘南大会は、参加者の皆さんが、普段の自分の本業とは異なる種目で参加されているのも、楽しさのひとつです。グライダー部門では、F1Bの平尾さん、小堀さん、岩田さん、井澤さんがエントリーされていました。また、ダブルエントリーで奮闘されていたのが和田さん(グライダー・ライトプレーン)と大八木さん(グライダー・H L G)でした。和田さんと大八木さんはそれぞれグライダー部門で1位・2位を獲得、他の人の2倍飛ばしているわけですから大変なものです。

そんな大八木さんに「君もダブルエントリーしたら」と言われましたが、「いやあ、そんなに沢山、メロンを食べられるかなあ」と答えておきました。

さて、競技と表彰式が無事終わり、櫛引さんの鍋が空っぽになった頃、待っていたかのように突然、強風が吹き始めました。自転車は倒され、折たたみミスが吹き飛ばされ、機体の箱は転がり、車も揺さぶられるほどの強い風でした。「これが競技中でなくて良かった、よくもったよなあ」と皆さん胸をなでおろしていました。最後に、大会を運営された湘南クラブの皆さんにこの場をお借りしてお礼を申し上げます。どうもありがとうございました。そして、皆さんにとって今年が良い一年でありますように。

帰りの新幹線は、東京駅を数分遅れで発車しました。岐阜羽島・米原付近で降雪のため、新幹線が徐行しているとか。名古屋を過ぎてしばらくすると、雪が新幹線の窓をたたき音がし始めました。外の風景に目をこらすと、住宅の屋根に雪が積もっているのが見えました。(以上鷺見)

関西から鷺見選手、中部から伊東選手が駆けつけて参加者は13人ながら激戦となった。鷺見選手はオールマックスで大健闘、天敵の伊東選手は高度ナンバーワンを下田選手と競っていたが3位以内には残れず、両人ともアウェイの戦いはストレスが大きい。

ハンドランチは1ラウンド90秒のスーパーマックスでスタート。90秒超は1人のみとやはり難しかったか。しかし、第1ラウンド60秒超は4人と立派。結局300秒達成は4人もいて、飛ばない飛行機でも飛んでしまう、大宮田んぼの凄さを示した。

競技では野球投げの菅野選手が、今や本流のUHL Gを押さえて優勝した。とにかくこの日の彼は高度が素晴らしかった。2位も腰が良くなってきた野球投げの井村選手、3位にやっとUHL G元祖の石井満選手と、野球投げもまだまだやれることを示して万歳である。

関西からはるばる来てくれた野球投げの鷺見選手、成績は300秒+4秒は立派なもの、多分本人の最高値ではなかろうか。でも4位とは慰めようがない。5位も野球投げの石山選手と、この日はUHL Gがコケにされた。6位にやっと現在関東では最高の高度を取る下田選手、でも297秒出しているのだから悪くは無いのだが・・・、怖い、コワイ。ツオイ春山選手は296秒で7位。ここでやっと天敵・中部の伊東選手、

295秒出しても8位、感想はどうか。

この日参加者のUHLGと野球投げとのバランスは半々、この日の平均タイムは272秒、こんな状態では何て言えばよいのか、わからん。今後はどうすれば良いのかな……。

ランチャーズでは次の記録会からは7/10投カウントで集計する案が出ている。又は、過去に試したペアマッチの勝抜き戦等幾案か試してみて、総意が得られる集計方式を決める時が来ていると言えようか。アメリカでは4/8投の2分マックスで争われる由。次回からは、紙飛行機も賞品が出るらしいので、ねらい目だ。

◇ライトプレーン・キットクラス

市販のキットをそのまま使う「ライトプレーン」競技は、製作技術よりも飛ばす技術の競演で結構な見物だった。参加者は7名だが女性陣が4名と多く、発航技術によって上昇高度はややバラ付くので、銃後の亭主がうるさい。帰ってから夫婦喧嘩にならないかと心配だ。(余計なことか)

残念ながら優勝は男性にさらわれてメロンは逃したが、2位は梅原さんの、3位は櫛引さんの奥方、5位にも海老原さんの奥さんが取って亭主の機嫌はマズマズか。60秒の戦いながら4位までがオールマックス、それにしてもキット・ライトプレーンの良く上がること、ゴムがG級より多いのだから当然かも。お陰様で国際級の選手が奥さんのために(賞品のため…)ライトプレーンに凝って、この種目が盛んになることは良いことです。この日の幹事役・石川さんがトーマイフィルム製のシワ張り機を見せてくれた。これは軽く出来る。但し骨だけが飛んでいる感じはどんなものか……。

F1G・ゴム 2分マックス、1Rはスーパーマックス4分

順位	氏名	R1	S M	R 2	R 3	R 4	R 5	小計	Fo1	Fo2	合計
1	出口東生	120	117	120	120	120	120	600			717
2	坂巻敏雄	120	97	120	120	120	120	600			697
3	渡辺了敏	120	68	120	120	120	120	600			668
4	倉田泰蔵	120	45	120	120	120	120	600			645
5	小林茂夫	120	41	120	120	120	120	641			641
6	嶋崎和利	120	120	120	120	119	120	599			599
7	前田 喬	120	51	120	120	120	112	592			592
8	松尾哲朗	120	55	102	120	120	120	582			582
9	海老原清	98		120	120	111	120	569			569
10	勝山 彊	120	23	120	120	80	120	560			560
11	鈴木深志	120	120	97	96	120	120	553			553
12	新谷誠吾	114		120	91	120	88	533			533
13	松岡道夫	79		85	72	78	45	363			363
14	大桃 隆	120	13	46	86	45	50	347			347

F1H・グライダー 2分マックス、1Rはスーパーマックス4分

No.	氏名	R1	S M	R 2	R 3	R4	R 5	小計	Fo1	Fo2	合計
1	和田光信	120	34	120	120	120	120	600			634
2	大八木重信	120	75	109	120	120	120	589			589
3	吉岡靖夫	120	120	102	120	120	120	582			582
4	平尾寿康	120	14	85	120	120	120	565			565
5	小堀三夫	120	67	120	101	70	120	531			531
6	岩田光夫	80	0	92	112	120	105	509			509
7	池田 昇	60	0	120	120	113	95	503			503
8	櫛引敬司	55	0	70	106	95	120	446			446
9	井沢正男	64	0	120	120	120	0	424			424
10	土肥英幸	120	7	72	109	32	0	333			333
11	宮辺康治	28	0	0				28			28

F1J・エンジン 2分マックス、1Rはスーパーマックス4分

No.	氏名	R1	S M	R 2	R 3	R 4	R 5	小計	Fo1	Fo2	合計
1	本永 昇	120	120	120	120	120	120	600	165		885
2	津田晃英	120	120	120	120	120	120	600	81		801

3	熊谷克己	120	103	120	120	120	120	600			703
4	江連明夫	120	88	120	120	120	120	600			688
5	金川 茂	120	75	120	120	120	120	600			675

HLG 1分マックス、1Rはスーパーマックス1.5分

NO	氏名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	F1	合計
1	菅野俊行	90		60		60		60		60			330
2	井村真三	86		60		60		60		60			326
3	石井 満	10	69	60		60		60		60			309
4	鷺見健次	52	64	60		60		60		60			304
5	石山芳彦	50	59	60		60		60		40	60		299
6	下田多門	48	57	60		37	60	60		60			297
7	春山清夫	61	66	56	51	60		60		60			296
8	伊東哲男	47	55	60		60		52	60	43	60		295
9	吉田利徳	64	60	56	50	60		36	60	51	56		292
10	斉藤勝夫	41	47	31	30	30	60	60	53	53	60		258
11	吉野栄三郎	35	49	43	10	52	34	25	29	42	45		222
12	大八木重信	20	44	40	41	60		21	37	37	27		219
13	相沢泰男	29		42	35	27	22	26	33	30	20		161

U
U
U
U
U
U

ライトプレーン・キットクラス 60秒マックス

No.	氏名	R1	SM	R2	R3	R4	R5	小計	Fo1	Fo2	合計
1	藤本忠明	60		60	60	60	60	300	120		420
2	梅原陽子	60		60	60	60	60	300	62		362
3	櫛引恵子	60		60	60	60	60	300	61		361
4	和田光信	60		60	60	60	60	300	50		350
5	海老原恵津子	52		55	60	60	60	287			287
6	岩田和子	60		52	53	47	60	272			272
7	平野 清	39		60	60	50	60	269			269

◆ **2005年世界選手権情報**

⑦

FAI のホームページ(ブリテン2)より、アルゼンチンで開催されるFF世界選手権の情報です。

- 開催時期 2005年5月21日(土)～28日(土)
- 開催場所 アルゼンチン(南アメリカの南端)、コルドバを南に114Km下ったラ・クルツの湖の畔4×6Kmのエアベース(1989年と同じ場所)とあるので飛行場か。ホテルエリアから20分以内が正しければ、素晴らしい条件である。湖が沢山ある地域の様であるが地図では不明。平均気温10度、湿度60%
- 日程等 21日受付、練習日 22日練習日、開会式とバンケット
23日F1A競技 24日F1B競技 25日F1C競技 26日予備日、
27日予備日、夕方より閉会式、バンケット 28日出発
競技は午前8.30開始～15.30終了、16.30フライオフ、
決着がつかない場合は、翌朝8.30から9分フライオフ
- 参加国等 現在、31ヶ国が申込、締切4月1日
- 日本選手 団長 金川 茂(兼務)
F1A 宮本茂樹 白井庄二 和田光信
F1B 西沢 実 坂巻敏雄 津田晃英
F1C 関沢一雅 金川 茂
スポーター

6. ローカ大会 ワールドカップがある。日時は18～20日で、開催場所は世界選手権と同じ場所である。日程は18日受付練習、19日F1A競技、20日F1B、Cの競技申込料20£(不明) /日?、これには宿泊+泊3食が付く。
7. Tシャツ、ワッペン 今回も選手団用のオリジナルTシャツとワッペンを作ります。今回は白井選手のデザインですが、解りやすく見栄えのするものです。
 シャツは1着2500円、ワッペンは多分1枚100円程度になると思います。
 この販売で若干でも選手団の経費になれば幸いですので、出来るだけ買ってください。
8. その他 言語は英語とスペイン語、レンタカーあり、回収用レンタルバイクはアルゼンチン・ホンダで7日間で130ユーロ(約2万円)、売りバッテリー(12v7A)は17ユーロ、フルパッケージの宿泊費・7泊3食・バンケット・送迎付きで285ユーロ(約4万円)、時差12時間等々。
 情報で見ると行き帰りは遠いが、安いと言えようか。条件は良さそうである。観光がてら行ってはどうですか。情報がスペイン語なのでよく解らんが。選手はせいぜい楽しんできてください。欲を言うと、トロフィーを3つ持ってきて。前はメール情報が少なかったが、今回はどうか。

お知らせ

● 05年きしめん大会

⑧

1. 主催 CFFC
 2. 競技種目 F1J、HLG、小型混合級(スパン30インチ、ゴム10g以下)
 3. 開催日時 2005年2月27日(日) 8:30～
 4. 開催場所 鈴鹿市池田町田んぼ
 6. 参加費 当日現地にて-1種目2,000円
 7. 申込み 当日。CFFC事務局
 8. 申込期限 当日受付
 9. その他 詳細については、CFFC事務局(TEL)にお問い合わせください。インターネットホームページ・「ランチャーズ」参照。

● 05年関西FF国際級競技大会

⑨

1. 主催 関西FFC連合会
 2. 競技種目 F1A、F1B、F1C、5ラウンド
 3. 開催日時 2005年3月13日(日) 受付午前6時から、競技は8時開始～12時50分～
 4. 開催場所 滋賀県神崎郡能登川町大中北田んぼ
 6. 参加費 選手12,000円、助手2,000円
 7. 申込み 〒590-0012 大阪府堺市浅香山町2-4-13-205 村上善信 宛
 8. 申込期限 2月15日締切、必ず郵便にて
 9. その他 詳細については、事務局(TEL)にお問い合わせください。インターネットホームページ・「ランチャーズ」参照。

● 05年大宮大会

⑩

1. 主催 東京選手会
 2. 競技種目 F1G、H、J、HLG、ライトプレーン
 3. 開催日時 2005年3月27日(日) 7:30より受付、8時競技開始、終了
 4. 開催場所 大宮田んぼ
 6. 参加費 当日現地にて-1種目2,000円
 7. 申込み 当日。東京選手会事務局
 8. 申込期限 当日受付
 9. その他 詳細については、事務局(TEL)にお問い合わせください。インターネットホームページ・「ランチャーズ」参照。

● 05年国際級板倉大会

1. 主催 J MA
2. 競技種目 F1A、F1B、F1C、
3. 開催日時 2005年4月9、10日(日)
4. 開催場所 群馬県板倉町 離田んぼ
6. 参加費 選手18,000円、助手
7. 申込み J MA事務局
8. 申込期限 3月末予定
9. その他 詳細については、J MA事務局にお問い合わせください。インターネットホームページ・「ランチャーズ」をご参照ください。

FF文化サロン

■ インドアハンドランチ・1秒でも長く飛ばす楽しみ・2 やまめ工房・石井満・・・⑫

先日カテゴリー1(天井高8m未満)の記録挑戦をしました。壇上+石井チームで47.3秒が記録されました。世界記録が最近になってニュージーランド人によって49.8秒に更新されたためそれには及びませんがまずまずの記録が出せたと思います。今回の会場はバスケ1面と狭いながら天井が「かまぼこ」型で中央付近では10mぐらいあります。FAIのルールでは直径15mの円柱が障害物無く取れる高さが基準となり、この体育館ではかまぼこ天井なので両サイドが低く7.98mとぎりぎりカテゴリー1になりました。高度を出す為通常よりも重めの機体として9mぐらいから滑空するように作られています。狭い会場にうまく旋回させるのに苦労しましたが何とか記録を出せてホッとしています。日本記録として申請中です。この場をお借りしてご協力いただいた皆さんにお礼申し上げます。

<カテゴリー2、大型化で成功そして新しい展開に期待>

天井高が8m以上15m未満のカテゴリーですが機体はカテゴリー1とまったく異なります。一見屋外機と大差ないように見えて重量が1/3程度、翼面荷重で3g/dm²ぐらいの機体になります。思いっきり投げてちょうど15m上がる様に機体を作るわけですが、なるべく沈下が少なくぎりぎり天井に届くような翼面荷重、翼面積のバランスを見つけることが必要です。翼面荷重～高度グラフであたりを付けて何機か作ってみると最適なバランスが見えてきます。

昨年9月に記録飛行を行いました。世界記録を作った壇上機は従来よりも大幅に大型です。スパン75cmで18g、翼面荷重は2.9g/dm²で沈下率は0.23m/sを実現しています。従来のものより20cmぐらいロングスパンでより空気に優れた低沈下率を狙った機体です。

性能を上げるのに一番確実なのはやはりスパンを大きくすることです。目に見えて滑空が良くなります。この機体を思いっきり投げて14mほど上がり60.4秒飛んでいます。翼型はしっかりアンダーキャンバーの付いたもので滑空性能重視です。翼の厚みは一番厚い前縁付近で4mm程度ありますが、後半部と翼端は透けるぐらいの薄さです。胴体は細身のカーボンパイプで極薄の尾翼が付いています。軽量の機体を作ることはあらかじめ各部品の重量配分を計算で割り出しその重量を厳守するように部品製作していくと予定通りの重量に仕上がります。

カテゴリー1と2の機体の塗装は基本的には不要です。軽量で安定性もぎりぎりなので屋外では風が無くてもまず飛ばす事は困難ですので、屋内専用とすることで雨や地面の湿気から守る必要がなくなり塗装は不要となります。但し重量に多少の余裕があればシンナーで薄めたラッカーをさっと1回だけ塗っておくと湿度による変形を多少防げるように思います。私のラッカーを1回塗ったカテゴリー2の機体は1年経ってもほとんど変形が出ていません。塗装1回で0.3g程度重くなるのでカテゴリー1では厳しいですがカテゴリー2なら何とかなるでしょう。

カテゴリー1と2は重量を軽くするため薄い翼を使いますので翼端投げをするだけの翼強度は取れません。しかしやりようによっては翼端投げも可能性が無いわけではありません。リブ組みフィルム張りの軽量、高剛性の機体が作れば翼端投げが出来るかもしれません。カテゴリー2で翼端投げが実用になればより大型化、低翼面荷重化ができ劇的に記録が伸びる可能性が残されています。80cmクラス翼端投げで翼面荷重2.5g/dm²の機体が初速に40m/sに耐えられる軽量の構造が開発できればカテゴリー2でも80秒ラインが見えてきます。

<カテゴリー3、今後は翼端投げが優位か?>

天井高15m以上30m未満がカテゴリー3です。普通の屋外機でも30m上げるのは大変なことですね。このク

ラスのインドア機にとって記録を伸ばすには高性能な機体の開発と良い会場を使えるかどうかにかかっています。狭く床張りの会場では重量級の機体では投げを失敗した時の機体破損は致命的ですし運が悪ければ施設を壊して賠償問題になる可能性もあります。

性能計算をすれば解かるのですが初速35m/s で投げた時の最長タイムを出す翼面荷重は9g /d m²ですがこのような重量級の機体では屋内では投げ失敗のリスクが大きすぎます。したがって破損リスクが少なくタイム的にも悪くない翼面荷重とする必要があります。9g /d m²より3秒ほどタイムは落ちますが6g /d m²が狙い目と考えています。

ドーム球場クラスの広い人工芝の会場ならこれらの心配はないでしょうが現状ではカテゴリー3は板張りの体育館になってしまうようです。国内のこのクラスの会場は幾つも無いようで、関東近郊では「くまがやドーム体育館」が天井高27m、バスケ4面が有望です。広さはもう少しほしい所ですが高さは十分です。昨年春に飛ばして見ましたが屋外機(野球投げ)を半分の重さで作った物でスパン650mm、重量25g、翼面荷重5.5g /d m²で20m程度の高度まで上がり60秒でした。

現在の世界記録は62秒なので比較的容易に更新が出来るのではないかと踏んでいます。しかしながら屋内での練習はくまがやドームでの練習1回だけで現記録を上回ったわけではなく確証は得られていません。意外にも思っているほど簡単な物ではないかも知れません。しかしながら今まで飛ばしてきた感覚では野球投げで60秒台後半、翼端投げならもっと初速が上がるので70秒以上も可能と考えています。翼端投げはコントロールが難しく投げをミスった時の問題があり調整が付く前に機体を壊してしまう可能性を考える必要があります。翼端投げの優位性は50パーセントと言った所でしょう。

前回のくまがやドーム練習では高度を使い切ってなかったのもう少し重く6g /d m²ぐらいで再度トライするつもりです。機体の工作は屋外機をもう少し軽く作ればこのぐらいの翼面荷重になりますので比較的簡単です。軽く作るコツは胴体と尾翼を極力軽くすることと主翼に軽いバルサ(比重0.08程度)を使うことでしょう。

カテゴリー3になると風の無い屋外でも練習が出来ます。屋外で練習する時は風の無い早朝がベストです。朝でもごく弱いサーマルがあるようなのでデサは必要です。沈下率が小さいので弱いサーマルでも降りてきません。私も早朝練習で何機も無くしました。デサはなるべく軽く済ませたいのでクールチューブを使った重り落下式が良いでしょう。早朝の草露から守るため当然塗装も必要でラッカーを2回程度塗っています。

<カテゴリー4、機体も会場広さも巨大に成りそうな・・・>

天井高が30m以上となりますが屋外機でもなかなか出せない高度をどう使うかで記録が出せるかどうかが決まるはずですが。現在の世界記録はアメリカ人による野球投げでの83秒ですが私のパワーではまともに今までの機体の延長でやっていたのでは計算上もこの記録は到底超えられそうにありません。それこそ屋内でのわずかなサーマルを期待するしかない状況です。しかし唯一可能性が残されているのは大型の翼端投げをドーム球場のような巨大な会場で振り回すことではないかと思っています。計算では初速45m/sを出す事が出来れば90秒近くのポテンシャルがあります。通常のスパン0.9mの翼端投げ屋外機の初速が35m/sぐらいだとすればあと30%も初速を上げなくてはなりません。

一方、RCの翼端投げではトップクラスの選手で40m超の高度が出るようですので初速は45m/s以上あると思われます。これらの機体はスパン1.5mで200g前後の大型で重量級の物です。重い機体を加速する為に翼端をつかんで長い助走後に1回転振り回して投げます。機体は「ビュー」と金属音を出しながら4秒以上直線上昇していきます。しかしこれを操縦なしで屋内で飛ばせるかどうかは疑問です。たぶん会場側が飛行を許可してくれないでしょう。もう少し小型で軽量な物でないといかに広く大きな会場とはいえ屋内でのフリーフライトは無理のように感じます。最近の大宮田んぼの記録をみるとトップクラスの選手はサーマルが無くとも60秒を確実に超えているように見えます。これらの機体をもう少し軽く仕上げたら70秒はきっと行くはずですが。しかしながら80秒となると今の延長上ではなく、何か新しい手法やら劇的な性能向上の要素を加えないと難しいのではないのでしょうか。

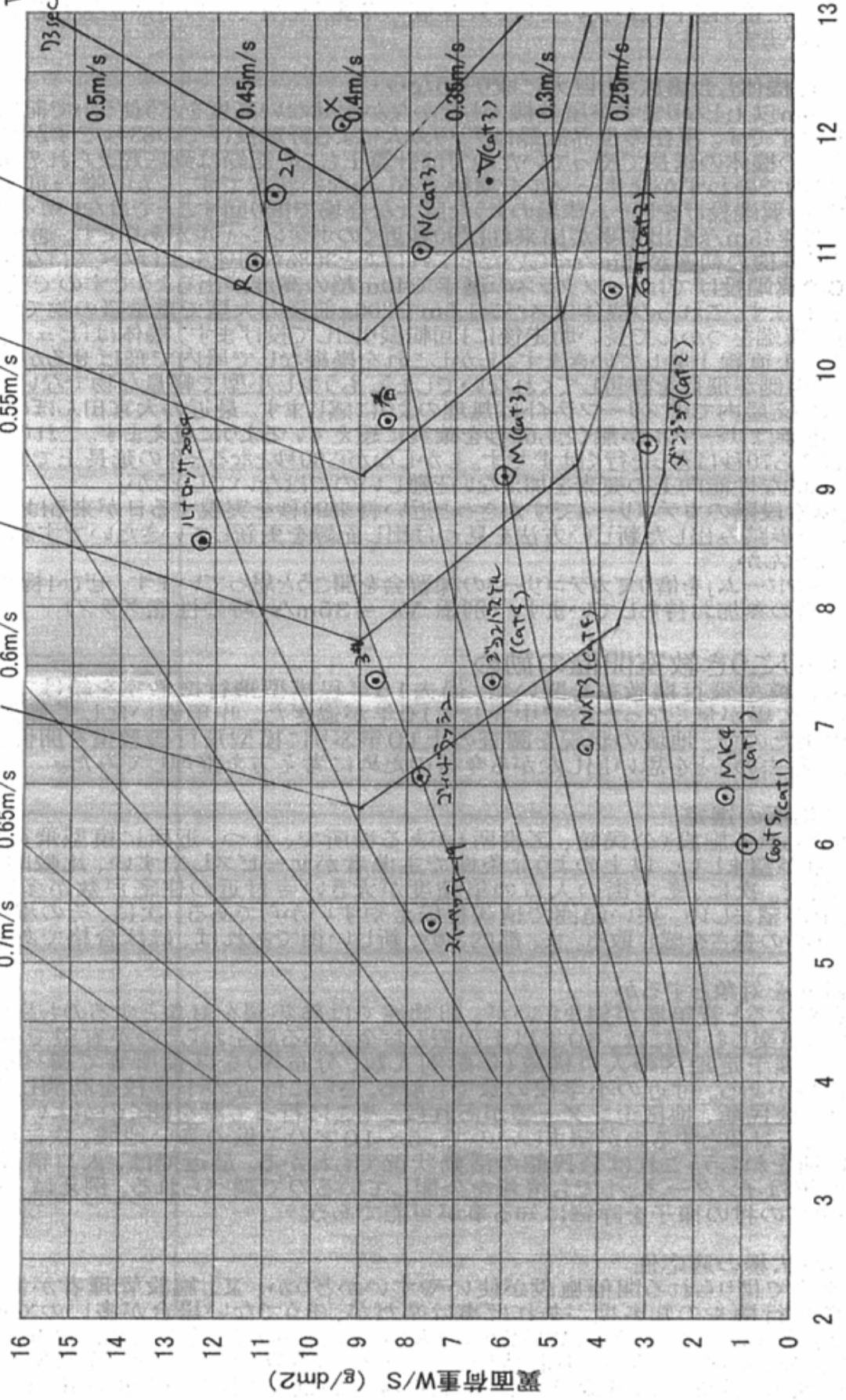
まだまだ模索段階のカテゴリー4ですがきっと近い将来90秒を実現する日が来るはずですが。今の飛行機からもう一歩踏み出した新しい方法を見つけ出し記録を更新していきたいですね。みなさんも一緒に挑戦しませんか。

近く「くまがやドーム」を借りてカテゴリー3の練習会を開こうと思っています。ぜひ1機作って試して見て下さい。大勢の参加お待ちしております。(別添 V0 =35 m/s 時の性能グラフ)

《 $V_0 = 35 \text{ m/s}$ 時の性能 》

HLG沈下率グラフ

高度[m] $V_0 = 35 \text{ m/s}$
 35m
 30m
 25m P(cat4)
 20m S(cat4)
 15m
 10m



アスペクトレシオ λ ($\lambda = b^2/S$)

■ もけいひこうき教室開催の勧め

平尾・・・⑬

10年ぶりに模型飛行機教室を開いた。過去15年程模型飛行機教室を続けていた検見川浜では、近所に広場が無くなったので中止して10年が過ぎた。昨年幸いにして幕張メッセ地区に公民館が出来たので、地域の状況を調査の上10年ぶりに模型飛行機教室を開催した。久しぶりだったので、過去のことを思い出しながら今後のために考え方を整理してみた。

1. 開催する場所の選定

無料で借りられる施設(公民館、区役所)がある場所で、且つ、近所に模型飛行機を飛ばせる場所がある事が望ましい。以上のような条件で主催者がサービスしやすい、比較的交通も便利な場所を選ぶこと。次に、その街の人口の集積度が大きい=付近の住宅戸数が多いこと、簡単に言うと住宅街が望ましい。狭い範囲で情報を伝えやすいからである。次に、その場所に住む人の経済レベル・心の豊さを感じ取る。ま、都内とか、新しい街であれば、ほぼ合格である。

2. どの年齢層を対象とするか

将来性を考えると若年層が望ましいが、即効性では熟年層を対象とするのも良い。ハッキリ言って自分たちが楽しむのには、60才以上の暇とお金がある層をねらうのが有望である。

最初に、開催予定地区の人口構成(年齢別人数、分布等)を区役所等で調べる。たいていは広報室に資料がある。付近の小学校の数でも解る。さらに付近の小学校を訪問して意見を聞く。又、付近に公民館、地区センター等があれば、そこに行って話を聞くのがよい。若年層と言っても小中学校を対象とするのが望ましいので、5~10才の子供の多い地域、次に60才以上の退職者が多い所をねらう。これは公民館の活動状況でもわかる。最近では、人口構成、分布、市民の活動状況等はインターネットでも情報を公開しているので調べられる。例えば、東京にいながら、九州の果ての村の様子を詳細に知る事が可能である。

3. 開催施設・広場の適応性

施設=無料で借りられる開催施設が使いやすいかどうか、又、施設管理者が協力的であるかどうか。模型飛行機やの知名度があれば事は楽だが、そうでない場合が多いので最初は非協力的でもやむを得ない。又、対象人数は2~30人が望ましいので、その人数が利用しやすい部屋・工作室、工芸室があるかどうか。小道具(セロテープ、はさみ、マジック等)を常備している場合はさらに良い。便所、洗面所は無論であるが、駐車場等が整備されている事が望ましい。

次に、近くに広場があるかどうか。あれば広さと安全性を確認する事。我々の模型飛行機は所かまわず飛ぶので、隣接道路の安全確認は重要である。又、広場内に危険な場所がないかどうかも確認する。特に、その付近を通る自動車の過多を確認すること等、安全確認はこのイベントの最優先事項である。

4. 作る模型飛行機の選択

無料の模型飛行機教室は望ましくない。自動的な選択・少額でも自分で出して参加する意志が必要なので材料費として300円前後を貰うことを前提として機種を選択する。HLGやグライダーの類は飛ばすのが難しいので勧めない。又、パチンコ飛行機は簡単なようで難しいし、見てくれがチャッチイので理解がされにくい。又、飛びすぎは禁物なのでパチンコの場合、輪ゴムを使う事になり面白くない。結局は、飛行機が自動的に飛ぶ魅力は大きいのでプロペラ機になる。しかし、過去の名機「スーパーフラッシュ」等の優れたキットが現在はない。しかも、ちゃんと作っても飛ばないキットがあつて選択が難しい。選ぶ基準としては、

①作るのが楽な事、

子供に作らせる場合、我々が考えるより2、3倍の時間をかける必要がある。又、作る場合、全員同時進行が不可欠である。劣等感を与える事は厳に慎むべきである。

②壊れにくい事、

壊れやすい部分があれば、教える時に出来るだけ改良する。バルサ、竹ひごを使った飛行機はそれなりに難しいし、壊れやすい。

③見てくれの良いキット(箱入り等)。

現在の子供には立派に見える事は重要である。袋入りキットは良質であっても、現在の世の中ではなかなか理解して貰えない。ケチケチした印象を与えないよう、又、我々が変な気を使わなくてすむような選択が必要である。

④余り大きくない模型飛行機

飛行機の大きさは、そのまま飛ぶ能力に比例するので重要である。小さい事は飛ばない事なので、狭い広場で飛ばし較べが出来る。これはなかなか重要な条件である。

竹ひごライト プレーンは玄人でも巧く飛ばないのだから止めた方がよい。作れば必ず飛ぶ、それもゴムを替えるだけでバツグンに飛ぶ模型飛行機が良い。その為に、必ず良いゴムを支給するべきである。これだけで、驚く程良く飛ぶ模型飛行機になる。

小型機の良いところはプロペラ・スラストに鈍感な事である。何にもしないでもゴムさえ巻けば見事に上昇してくれる。ランチャーズ提案のゴム1.5gのライトプレーンが良い例である。

以上の条件で選択しても、必ず作って飛ばしてみる事。1人では見落としが結構あるもので機種が決定すると、複数の先生にも飛ばして貰うのがよい。多角的にチェックが必要。

5. 教え方について

15年続けた結果わかった事は、空力等の難しい事は極力省くのが望ましい。自分が言いたい事ではなく、相手がわかりそうな事にしぼって話す事が重要である。あらかじめ自分が話す事を準備していても、参加者を見て無理だとわかればサッサと変更する度量が必要である。極力、作り方・飛ばし方の実際についてのみ話すのが望ましい。また子供が黙って聞いているのは最大で30分が限度なので、講釈は10分程度とする。あとは作りながら、だんだんに説明を加えていく。

主催者の模型飛行機への過剰な熱意は、百害あって一利無しである。特に、子供に対して「善意の押し売り」は止めて欲しい。模型飛行機が嫌いになられては、やる意味がないではないか。いかに面白く、いかに簡潔に解りやすく、早く終わるかが必須である。但し、言うは易く行うは難しで、書いている本人は教えることは全く下手である、不悪。

6. 「飛ばしくらべ」は必須

作るだけの模型飛行機教室は人気がない。模型飛行機は飛ばす楽しみがなければ意味がないので、必ず飛ばしくらべをやって欲しい。

参加する子供や父兄はもちろん先生役も楽しめる、ほのぼのとした「飛ばしくらべ」とする。これまでの例では、最初はオズオズとしているが慣れてくると、父兄が夢中になって子供を応援してキャーキャーの大騒ぎになる成功例が多かった。これは大変嬉しい事でいっぺんに疲れが取れる。

それには、先生は作った飛行機の飛ばし方を徹底的に知ってなくてはならない。子供が飛ばしても駄目な場合、即座に飛ぶように直せる技術が必要である。殆どの場合は各部のひずみが原因であるが、不思議にどうしても飛ばない飛行機がある。この場合は即座に、自分の持っている飛ぶ飛行機と交換する。と言うことは自分は必ず飛ぶ飛行機を持ってなくてはならない訳だが、「飛ばし比べ」は徹頭徹尾飛ばし方の指導に徹する。それぞれの年齢の子供に合った飛ばし方を教えることは、意外に難しい。結局は経験がものを言うので、普段から子供に飛ばし方を教える様に心がけるのがよい。

大会が白ける場合は何かイベントを用意しておく事。例えば、見えなくなる程上がるパチンコやライトプレーン等を用意する。但し、必要ない時はやらないこと。無理にやるとかえって白ける。

7. 賞品も必須である

賞品は必ず全員に出すことを勧める。幼い子供の場合、何も貰えないと泣いてしまうし、差は付いても何か表彰されることで、やる気を持って欲しいからである。賞品は当然主催者の自腹になるが、協力的な模型屋さんがあれば理想で、様々な小物を提供してくれる。その場合無論、宣伝もしてあげるべきである。しかし若干の費用の持ち出しは覚悟しなければならない。時間に余裕があれば調整済みの完成機・パチンコやライトプレーンを作って賞品とすると良い。

8. 模型飛行機の展示をする

模型飛行機に興味を持って貰うために、模型飛行機を展示するのが良い。大型、小型と様々な種類の模型があれば、なお良いと思う。驚く程凄い模型飛行機や、誰でもやれそうな模型等々、技術の幅が必要である。関心を持ってくれる様々な模型飛行機を集めるのがよい。これは我々が決して商売でやっているのではない事を印象づけるのが目的である。しかし、余りに高等な、複雑な印象のみを与えることは望ましくない。

9. どのようにして参加者を集めるか

もけいひこうき教室を開催する上で、最も難しいのは集客である。集客が成功すると、このイベントは成功したも同然である。

公民館等が参加者を集めてくれる場合は問題がないが、新地開発の場合は、どのように宣伝するかが難しい。当然ながら、お金はかけられないので、出来る範囲で宣伝に努める。

① ポスター貼り

まず開催場所に近い所から、しだいに外側に向かって宣伝の輪を広げるのが良い。目に付きやすい、色付

きのポスターを作成し貼らしてくれる場所を探すことから始める。付近に公的な施設があれば望ましいが、無い場合は郵便局、マンションや銀行の掲示板、お菓子屋等こまめに頼んで回る。そしてポスターを貼ってもらえた場合は、終わった時必ずポスター回収にまわる。その時は教室で使った模型飛行機等を持参して、宣伝も兼ねてお礼として置いてくれるのが望ましい。マンションの管理人は意外と親切である。出来れば屋外に貼りたいのだが、下手をすると罰せられる事もあるのでチェックが必要。屋外に貼るのは、開催間近になってから実行するのが安全である。あまり長く貼っているとだれるし、剥がされる恐れがある。

② チラシ配り

次の方法としてチラシ(B6サイズ)くばりをやる。子供連れの親が集まりそうな場所・広場を訪問してチラシを根気よく配って回る。模型飛行機を飛ばす時は、日頃から好印象を与えるよう努力するべきである。これを毎年続けていると、毎回楽しみにしてくれる固定客が付く。そこまでが大変であるが・・・。

③ 地元グループとの提携

付近のグループ活動を調査して、組めそうなグループがあれば相談する。公民館には大体活動団体の資料がそろっているので解りやすい。その中から、子供の工作教室や絵のグループ、ボーイスカウト、シニアの同好会等の主催者を調べて会いに行く。各グループとも1年中活動进行するのは苦劳が多いので、年2回程度の事であれば案外乗ってくる。ダメで元々である。

注：大変幸運なケースとして、協力的な公民館では広報に載せてくれる場合がある。但し、その結果として、あまり沢山の参加者がある場合は載せるのは止めた方がよい。商売ではないので、アットホームなイベントが出来る範囲の人数が望ましい。また、多人数だと、やる方もくたびれ過ぎて2度とやりたくなくなる。

10. 主催者グループの育成

活動をするには、一人では無理なのでグループ形成が重要です。但し、余りにも自分中心な人を作らないように、上手にグループ形成をする必要がある。それには日頃から普及活動をやるのが望ましい。例えば、広場で遊ぶ時には常に入門用のHLGのパンフレット持参し配る等々。また、人にあげられる模型飛行機を幾つか作って持っている等々も素晴らしい。基本としては、常に初心者勧誘の心を持ち続けることが大切である。余り自分だけが夢中にならない事や、見学者には必ず話しかける事を心がける。各自、何かの役割を果たせる事が重要なので、原則として命令する人は必要ない。飛行機に凝り固まった変態の「オタク人間」の集まりで十分である。

11. おわりに

何事も、最初に始めることは難しいし、手間がかかる。失敗を恐れず、恥をかきかき、コツコツと「新人」を育てよう。さすれば、何時か第二のランチャーズが出来る。

◆ 雑談天国 ◆新潟のFF事情・ガンパってます！新潟 新潟の細海・・・⑭

昨年7月の水害、10月には大地震、そして、この冬は山間部の大雪と新潟県中越地方は、さまざまな被害にみまわれました。その都度、多数の方々に気遣いの電話をいただき、誠にありがたい事です。運良く私達フリーフライト新潟チームの住む下越地方はギリギリの所で被害はなく、いつものように飛行機生活を送っております。

さて、新潟のHLG事情であります。私達の活動する白根市(3月21日に新潟と合併)は、大田園地帯なので、車で5分も行けばHLGはもちろん、F1A、B、Cの飛行にも十分な広さのところがああります。過去、世界選手権アメリカ大会の前に、F1Cの方々が遠征飛行に来てくださり、まさに白根は新潟県におけるフリーフライトのメッカと自負しています。思えば東野さんとの会話はその日が最後でした。

私、長井、笠井の3名が大宮田んぼに通い始めて4~5年が経ち、一昨年は私は大腿骨を人工関節にする手術を受けました。それまで歩行もままならない状態で、スパン45cmの機体でさえ投げ切れずにいました。しかし、翼端投げの方法を知ってからは、獲得高度も良くなり、MAXの数も増え、あらためてHLGの楽しさを知りました。

昨年11月の大会で満足のいく成績を納め(注：JMA大会のHLGで2,3位のトフィーを取得)、そのせいかチームメイトとの話題で、これからは若手の育成をしよう！と余裕が出来たようで・・・。

夢は新潟大会の開催です。とにかく、まずはあの手この手で仲間を増やし、大宮へ新人を連れて行ければ大成功です。

そしてもう一つの目標があります。吉野氏との約束で、コントロールラインのジェットエンジン機を飛ばす事です。C/Lあがりの私達は時々エンジン音が恋しくなるのです。

以上、新潟の模型飛行機事情です。技術はありませんが、酒・米は豊富ですので、皆さん、永いおつき合いをよろしくお願い致します。

▼ 編集後記

* 遅ればせながら、明けましておめでとうございます。今年の会報もよろしく。去年はまさに「UHLGの年」であった。今年は、その変化が一段と加速して行く様な気がする。

* 上述の「**頑張ってます！新潟**」は素晴らしい話で大歓迎です。ぜひ、新潟大会をやってくださいませ。バスで駆け付けます。又、新人獲得は日本の模型飛行機界の強い願望ですので、ぜひ実行してください。模型飛行機教室や大会の企画があればご相談ください。声がかかれば、すぐ会長（会長だけかな、いやいや、その他大勢も！！）が応援にかけつけます。

その他、材料や優れた設計資料の必要があれば、ご連絡ください。最近出てこないけれども、この火付け役の関沢！面倒を見にゃー、勝てないのは解るけど、たまには出てこい！！

* 昨年とうとう顔を見せなかった東北の阿部選手は、肉親の看護介護で手が離せなかったようです。たまには、愚痴でも世間話でもいいから、メールください。

その他では急に来なくなった・富谷、林、梅津、平岩の各選手はお元気でしょうか。長年、会員だったネイサン・スターマン氏は中国に行かれた由。それと寂しい事ですが、そろそろパチンコでは高齢化で退会される方がポチポチいます。今後ともお元気で、飛行機してください。

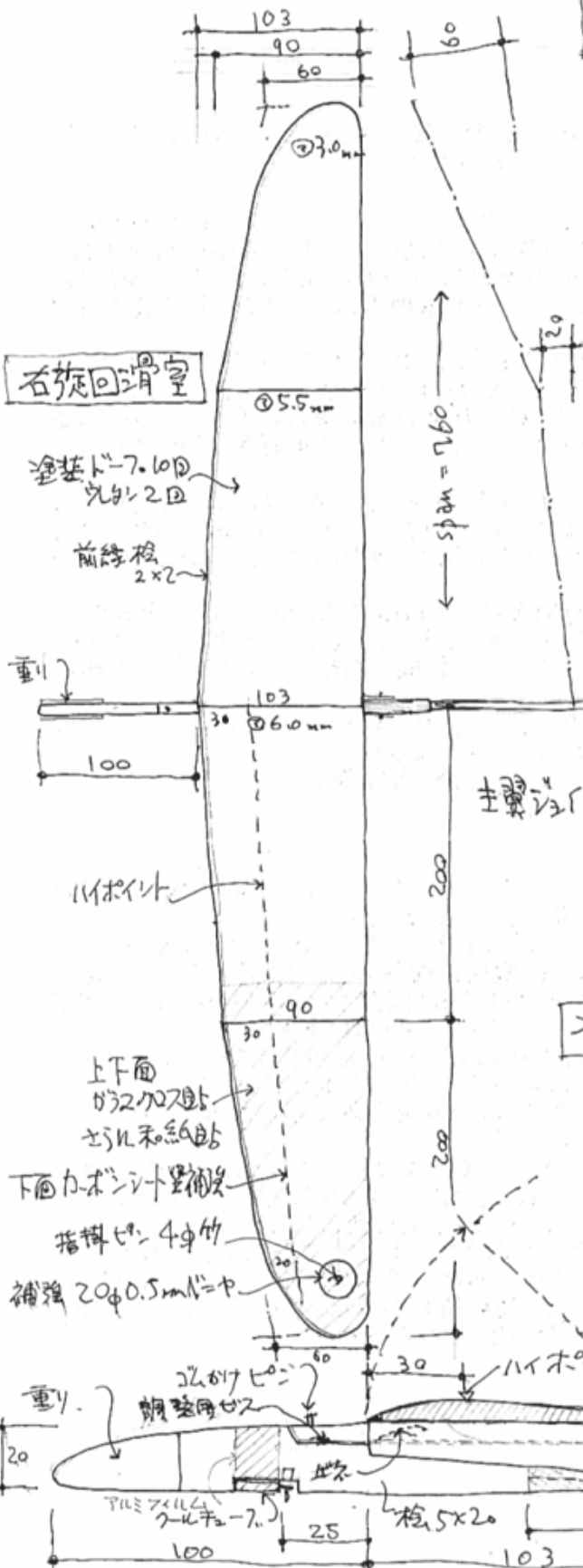
* 嬉しい事に、今年になって急にランチャーズ会員が増えてきました。これまで、会報の発行部数の関係から、会員の出入りも含めて65人程度に抑えてきたのですが、今年はあると70名をこえましたので、枠を少し広げようと思っています。又、技術情報が少ないとの意見もあるので、技術（エセ技術も可）の有る方は投稿してください。でないと、やれんで・・・。

UHLG 入門機

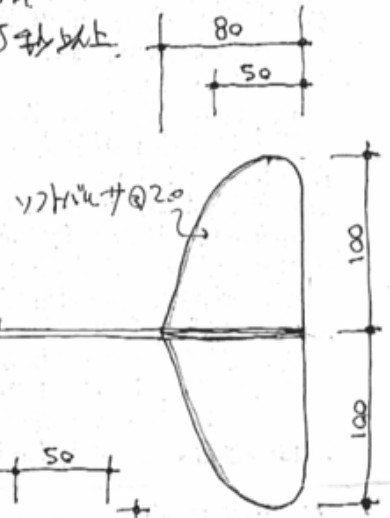
by H. Hirada

2005.2.

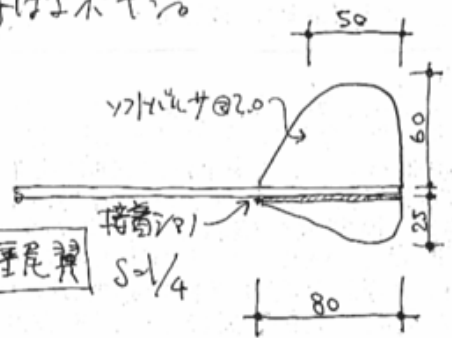
主翼面積 6.5 dm²
 重量 主翼 40g アスペクト比 8.9
 副翼 25g
 計 65g
 翼面荷重 10g/dm²
 取得高度 25m
 帯空性能 5秒以上



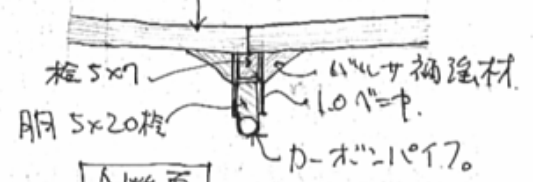
平面 $S=1/4$



木製尾翼 $S=1/4$



A断面 $S=1/2$



胴前部 $S=1/2$

